

本日は、次年度の地区代表を控えております宇部ローターアクトクラブについてお話しします。私たち宇部ロータークラブは、今年度に創立 60 周年を迎えましたが、宇部ローターアクトクラブの創立は、1975 年 5 月 12 日で、昨年が 40 周年でした。数年前からアクト会員が急激に減少し、例会の運営もままならないため 40 周年の祝賀会もできておりませんが、昨年度地区青少年奉仕部長の金子正己様のご尽力により、企業会員を増やして頂き、現在は何とか 14 名を維持しております。しかしながら、30 歳という年齢制限があり、卒会者も多いので会員数の維持が困難です。地区代表を出すアクトとしましてもロータリー同様に会員増強が必要です。昨年度、私は地区の青少年奉仕委員会ローターアクト委員長を務めました。若い人との交流が真の意味でのロータリー自体の会員増強になるのではないかと感じました。今年度の規定審議会をご存じのように、ローターアクトの二重会員身分が認められました。ロータークラブ入会の資格を満たす現役ローターアクトが、ローターアクト会員であり続けると同時にロータークラブに入会できることを認めました。例会の形式と頻度に大幅な柔軟性を認めることによって、ローターアクトがロータークラブに移行できるように月 2 回にしたとも考えられます。

さて、ローターアクトにつきまして少し説明します。1960 年代「世界中の青少年が共に活動できるような組織をつくろう」という機運が高まり、1962 年、国際ロータリーは、まずインターアクトプログラムを作りました。しかし、インターアクトは 14~18 歳の高校生の年代が対象で、卒業と同時に会員資格が失効するため、これを継続するものとして、1968 年 1 月に当時のホッジス国際ロータリー会長により、「ローターアクト構想」が打ち出され、1968 年、RI 理事会は、初めてローターアクトクラブの発足を認証しました。同年に、世界最初のローターアクトクラブとして、アメリカ合衆国ノースカロライナ州のノースシャーロットローターアクトクラブが設立されました。日本でも、この同じ年に国内初のローターアクトクラブが埼玉県で発足しました。川越ロータリークラブの提唱で、国際商科大学ローターアクト（現川越ローターアクトクラブ）です。現在では、全ての都道府県に存在し、国際ロータリーではこれを 34 地区に分けています。資格は、学生を含む 18~30 歳の青年男女で構成されており 2 週間に 1 度の頻度で集まり例会を開いております。もちろん、ローターアクトクラブには、スポンサーとなるロータークラブ（提唱ロータークラブ）が支援をしております。2016 年 3 月時点では、世界 150 カ国以上の地域に、529

地区、8.341 クラブ、2 万人以上の会員がおり、日本では、34 地区、284 クラブ、約 3.180 人の会員が在籍しています。会の組織は、クラブ会長、副会長、幹事、会計とクラブ理事会メンバーを中心に運営され、クラブ奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会、専門能力開発委員会、財務委員会の 5 つの委員会があります。ローターアクトの目的は、定款によると青年男女が個々の能力の開発に当たって役立つ知識や技能を高め、それぞれの地域社会における物質的、あるいは社会的ニーズに取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々とよりよい信頼関係を持つこととされています。

現在、2710 地区内のローターアクトクラブは、山口県内に下関、宇部、徳山の 3 カ所、広島県内には広島、呉、福山の 3 カ所にクラブがあり、地区全体では、6 クラブで現在 73 名の会員が在籍しております。主な行事として、まず、地区代表の公式訪問がこの 6 クラブにおいて行われます。また、年に 1 回アジア方面への海外研修旅行を行い、国際交流を深めています。さらに、年 2 回の勉強会として地区協議会を実施、RYLA への参加、及びローターアクト最大の総会である年次大会 などもプログラムされております。

最後になりますが、どうか企業のロータリアンの皆さん、宇部ローターアクトクラブの会員を増強するために企業アクト会員のご推薦をお願い致します。本日は、ローターアクトについてのお話をしました。